

# コカ・コーライーストジャパン

ワールドクラスの

コカ・コーラボトラーを目指して

(証券コード：2580)

2015年8月

*Coca-Cola East Japan*

コカ・コーライーストジャパン株式会社

[www.ccej.co.jp](http://www.ccej.co.jp)



# コカ・コーライーストジャパンについて



*Coca-Cola East Japan*

コカ・コーライーストジャパン株式会社

[www.ccej.co.jp](http://www.ccej.co.jp)



# コカ・コーライーストジャパンとは

Coca-Cola East Japan



- 2013年7月1日、三国コカ・コーラボトリング、コカ・コーラ セントラル ジャパン、東京コカ・コーラボトリング、利根コカ・コーラボトリングの4社統合で発足
- 2015年4月1日、仙台コカ・コーラボトリングを事業統合
- 日本最大、世界有数のコカ・コーラボトラー

1都15県

人口約6,600万人をカバー



年間販売数量(実箱ベース)※

約2億8,100万ケース



販売店数

20万軒以上



年間売上額

¥5,233億円



自動販売機、クーラー、  
ディスペンサー

55万台以上



飲料ブランド数

約50種類



従業員数(正社員・臨時従業員の合計)

約12,000人



※売上高、販売数量は2014年12月期(仙台コカ・コーラボトリングの数字は含みません)

コカ・コーライーストジャパン株式会社  
(証券コード: 2580)

# おなじみのコカ・コーラ社製品を製造販売

Coca-Cola East Japan



# 多様で経験豊富な経営陣

Coca-Cola East Japan

## 世界中のコカ・コーラシステムの知見を活用

代表取締役 社長



CEO

カリン・ドラガン



代表取締役 副社長



CFO

マイケル・クームス



副社長 営業本部長



コスティン・マンドレア



取締役 法務本部長



尾関 春子



IS本部長



サミ・ベン ジャーマ



サプライチェーン



本部長

ブルース・ハーバート



HR本部長



石坂 聡



ストラテジック



トランスフォーメーション

本部長

アミット・オベロイ



ビジネス



インテグレーション

本部長

カナン・セトウラマン



PAC本部長



八住 庸平



## コカ・コーラビジネスを成長させる強固なパートナーシップ

### 広告宣伝



### 企画開発



### 原液供給

企画

研究  
開発

原液  
製造

製品  
製造

物流

販売

回収

リサイ  
クル

### 日本コカ・コーラ(株)

- ブランド
- イノベーション
- グローバルな視点
- 消費者志向
- 卓越した洞察力

### コカ・コーライーストジャパン(株)

- サプライチェーン
- コストの最適化
- エリアに精通
- カスタマー志向
- 世界に誇れる実行力

### 製造



### 物流

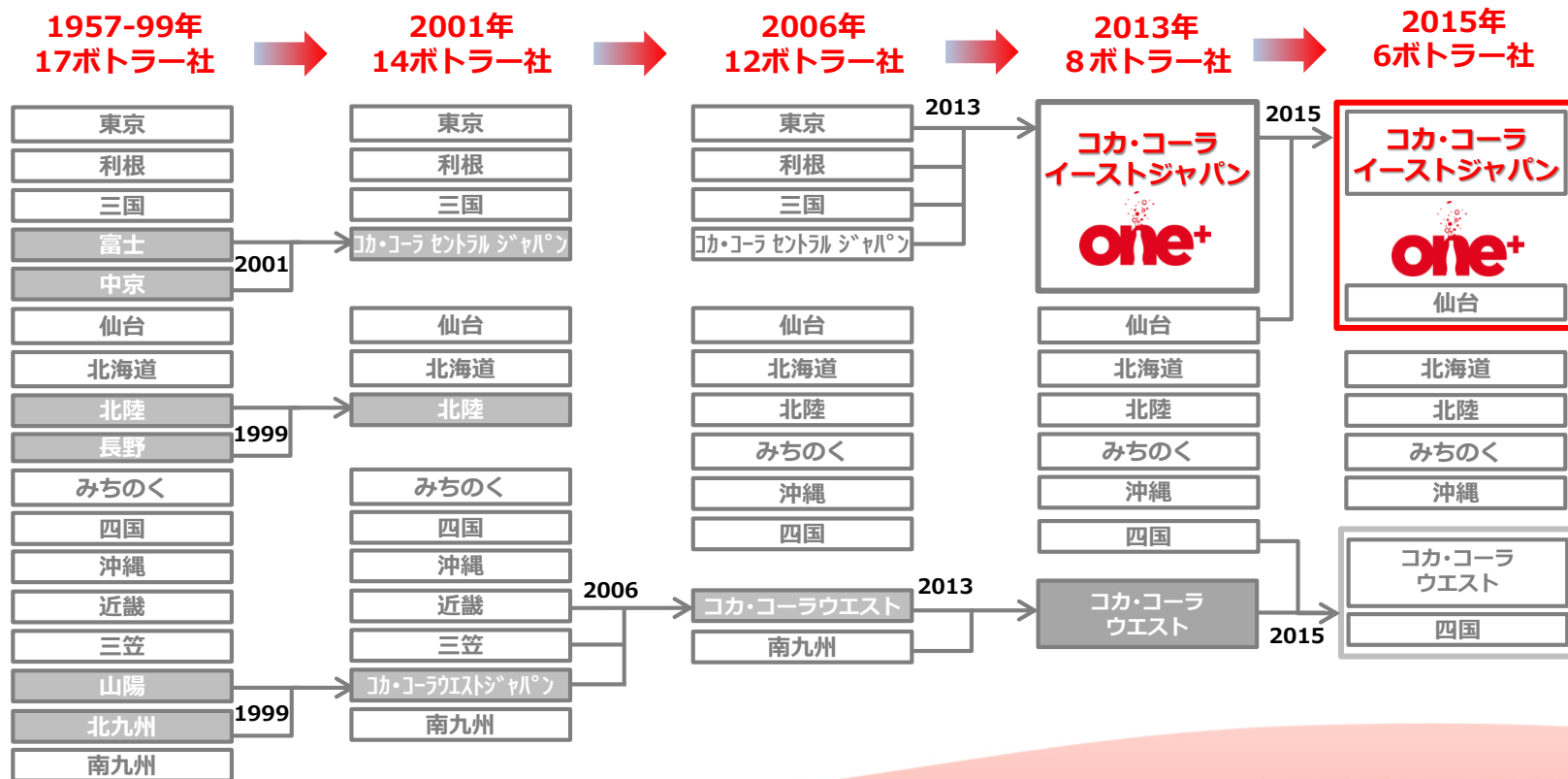


### 販売



# 進化し続ける日本のコカ・コーラシステム

顧客、消費者、市場環境の変化に対応



# 成長戦略

～成長に向けた

One+ロードマップ～



*Coca-Cola East Japan*

コカ・コーライーストジャパン株式会社

[www.ccej.co.jp](http://www.ccej.co.jp)



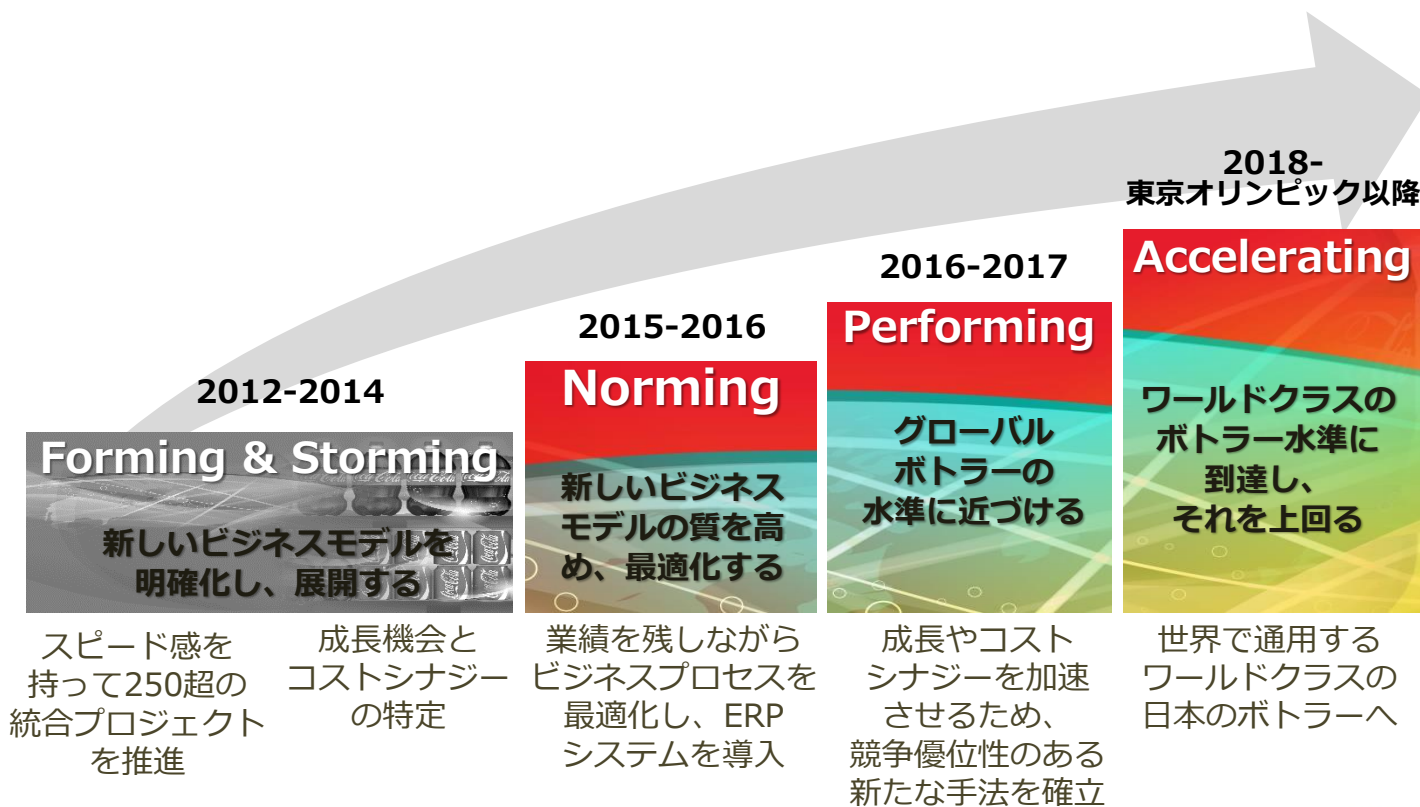
100 YEARS OF THE

COCA-COLA BOTTLE



# 成長に向けたOne+ロードマップ

Coca-Cola East Japan



TOKYO 2020





成長

2018年には、2012年比  
300億円の売上増を目指す



シナジー

2018年までに総額で200  
～250億円のサプライ  
チェーン関連費用の削減を  
目指す



インフラ投資

2018年までに450～500  
億円を製造設備に投資



人材育成

世界モデルの人材の育成

## すべてにスピードを

スピードと変革がコカ・コーライーストジャパンの成長に向けたOne+ ロードマップの重要な要素です

# 統合後2年間の主な変革

- ✓ 統合初日に存在した26社を2015年4月1日時点で4社にまで統合
- ✓ 仙台コカ・コーラボトリング株式会社を事業統合
- ✓ 営業体制の強化と最適化
  - 首都圏エリアに注力した組織体制に再編
  - 収益力の高い屋内設置（インドアロケーション）への自動販売機の設置拡大
  - RTM (Route-To-Market) による営業活動効率化プログラムを全営業拠点に展開完了
  - 営業部門のコールセンターを6カ所から2カ所に統合
- ✓ 製造能力の強化と最適化
  - 新規製造設備9ライン導入、PETボトルインラインブロー設備導入、ボトル缶製造ライン増設
  - 2工場の稼働を停止
- ✓ 事業変革の基盤となるERPシステム“CokeOne+”の第1フェーズ導入完了
- ✓ 格付取得（A+、R&I）、普通社債140億円発行
- ✓ 新たな業績評価システムと業績連動型インセンティブ制度の導入
- ✓ 人材開発投資：リーダーシップトレーニング、営業スキル、ACE（英語）、ダイバーシティ



# 上期(2015年1月～6月)

# 業績概要

Coca-Cola East Japan

- バランスのとれた販売数量と売上成長を達成するも、市場における厳しい競合の影響を受ける
- 製造効率向上で売上総利益率が改善
- 新しい情報システムを導入した後、物流・配送分野における課題が発生し販管費に影響

2015 上期 財務報告ベース実績 (単位：百万円)		2015上期 一時発生 項目	2015上期 比較可能 ベース	2014上期 比較可能 ベース	前年同期比	
					差異	%
販売数量 (BAPC, 千ケース)	139,794	-	139,794	132,610	7,184	+5.4
売上高	262,049	-	262,049	248,495	13,554	+5.5
売上原価	140,051	-	140,051	135,781	4,270	+3.1
売上総利益	121,997	-	121,997	112,714	9,283	+8.2
販管費	120,651	△1,295	119,356	113,936*	5,420	+4.8
営業利益	1,345	1,295	2,640	△1,222	3,862	-
税引前当期純利益	131	2,445	2,576	△1,036	3,612	-
当期純利益	988	1,574	2,562	△1,540	4,102	-

※比較可能ベース：当期あるいは比較対象期間のいずれかにのみ影響を与える事象と判断される一時費用、例外的な費用や損益等を除外して表示した業績。

※2014年度上期の業績には有形固定資産の残存価額を備忘価額に変更し、残存価額を備忘価額まで償却したことによる影響額が売上原価に805百万円、販管費に3,850百万円含まれています。

# 第2四半期：マーケティング活動の状況

## 消費者との結びつきを強化

Coca-Cola East Japan

Q2

### 「コカ・コーラ」ボトル100周年



### コカ・コーラ ライフ

### TRY! #利きコーク



### 「コカ・コーラ」 スリムボトル (アルミ製コンツアーボトル)

### Share-a-Coke



エリア限定 オムゴドルも！  
みんなと、いっしょに飲もう。



### コカ・コーラ 史上最高のゼロ

Q2

### カスタマー限定製品

### ジョージア ヨーロピアン リニューアル

### ジョージア プライベートリザーブ



### はじめ



### いろ・は・す アロエ



また一步、理想のおいしさに近づきました。  
ジョージア ヨーロピアン

### 期間限定カフェ 「コーヒーハウス ヨーロピアン」 を表参道に開設



Q2

### いろ・は・す

### トクホ

### ペコらくボトル

### 日本の烏龍茶 つむぎ

### Toreta!



### いろ・は・す とまと



### 特定保健用食品 からだすこやか茶.W



### 1L PET パッケージ展開



### 国産茶葉 100%



コカ・コーライーストジャパン株式会社

# 下期の注力事項と通期業績予想

- ✓ 重要販売チャネルにおけるマーケティング活動の強化
- ✓ 物流・輸送最適化に注力
- ✓ あらゆる経費の徹底的な見直し

2015年12月期 通期 業績予想（比較可能ベース）	
販売数量* (BAPC, 千ケース)	308,783
売上高	571,900
売上総利益	270,500
営業利益	15,800
税引前当期純利益	15,800
当期純利益	9,900

営業利益率 2.8%

2014年12月期 通期 実績（比較可能ベース）	前年比	
	差異	%
281,586	27,197	+10
523,299	48,601	+9
239,336	31,164	+13
10,474	5,326	+51
10,643	5,157	+49
5,975	3,925	+66

営業利益率 2.0%

# 株主還元・優待等



*Coca-Cola East Japan*

コカ・コーライーストジャパン株式会社

[www.ccej.co.jp](http://www.ccej.co.jp)



100 YEARS OF THE

COCA-COLA BOTTLE



## 配当

- 将来にわたる持続的な発展および高利益成長を確保するための事業への投資
- 健全かつ安定した配当

1株当たり 配当金	中間 (9月支払)	期末 (3月支払)	年間合計
2015年度 (予想)	16円	16円	32円
2014年度	16円	16円	32円

## 株主優待

- 100株～500株未満：当社製品12本
- 500株以上：当社製品24本
- 12月31日時点の株主様に、毎年4月上旬頃贈呈



過去の優待製品例

## 工場見学にお越し下さい

見学可能な工場

多摩工場（東京都東久留米市）

茨城工場（茨城県土浦市）

東海工場（愛知県東海市）

蔵王工場（宮城県刈田郡蔵王町）

詳細はウェブサイトからどうぞ。

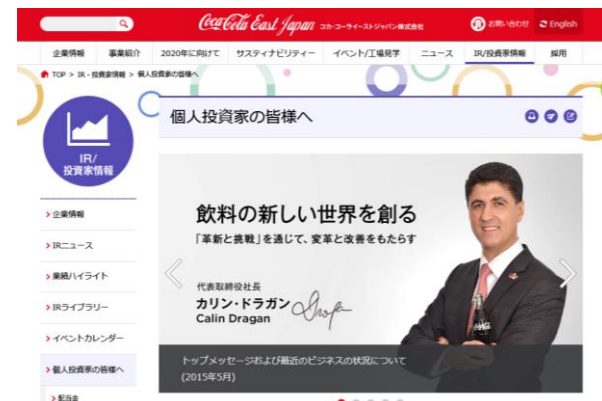
<http://www.ccej.co.jp/plant/>



## 個人投資家の皆様向けサイト

<http://investor-jp.ccej.co.jp/>

IR・投資家情報 > 個人投資家の皆様へ



# 将来の業績に関する見通しについて

Coca-Cola East Japan

本資料に記載の事業計画、業績予想、および事業戦略は、本資料配布時点での情報を考慮した上でのコカ・コーライーストジャパン株式会社（以下当社）経営陣の仮定および判断に基づくものです。これらの予想は、以下のリスクや不確定要因により、実際の業績と大きく異なる可能性があることに留意してください。

なお、リスクおよび不確定要因は以下のものに限られるものではありません。当社の有価証券報告書等にも記載されていますので、ご参照ください。

- 市場における価格競争の激化
- 当社の事業を取り巻く経済動向の変化
- 資本市場における大きな変動
- 為替レートの変動、特に日本円と米ドルの為替レートの変動
- 原材料費の高騰
- 課税環境の変化
- 経営陣が計画した水準・時期に、生産効率の向上や設備投資を実施する当社の能力
- 効果的に市場投入かつ流通させる当社の能力
- 上記以外の不確定要因

本資料の情報は、情報の提供を目的としており、当社証券への投資勧誘を目的するものではありません。

また、当社は新しい情報あるいは将来のイベントにより、本資料の内容を更新する義務を負いません。皆様におかれましては、当社発行の証券に投資する前に、ご自身の独立した調査に基づいて判断をお願いいたします。

# ありがとうございました THANK YOU

コカ・コーラ・イーストジャパン株式会社  
IR部

[ir@ccej.co.jp](mailto:ir@ccej.co.jp)

IRサイト

<http://investor-jp.ccej.co.jp/>

*Coca-Cola East Japan*

コカ・コーラ・イーストジャパン株式会社  
[www.ccej.co.jp](http://www.ccej.co.jp)

